

JOMF 派遣医師便り (2014. 11)

◆ジャカルタ◆

エレベーター

JJC 医療相談室

原 稔

日曜の夜、晩飯を食べて帰って来ました。トイレトペーパーが切れていたことをエレベーターの前で思い出し、Uターンしてアパートの地下にあるコンビニに向かいましたが、店は閉まった直後です。まだ中に人がいたので売ってくれと頼んだのですが、ダメだと言います。金で買収しようかとも思いましたが、面倒なので隣のアパートのコンビニに行きました。

戻って来ると、運良くエレベーター一基がグランドフロアに止まっています。他に誰もいません。30階のボタンを押し、ドアが閉まると、ガタガタと揺れながら登っていきま。有難迷惑な芳香剤が「シューッ」と吹き出し、臭いなあと思いながらフロア表示を見つめていました。・・・27、28、29・・・このエレベーターは停止する前に、長い間があるのです。そのとき、ガクンという軽い衝撃とともに電気が消えました。

閉じ込められました。ジャカルタではよく聞く話ですが、5年目にして初の体験です。そもそも、このエレベーターは評判が悪く、5基あるエレベーターのすべてがまともに機能していることはほとんどありません。それを理由に転居した人も居ます。今まで運が良かったのでしょうか。

さて、携帯電話の明かりを頼りにエマージェンシーボタンを押しますが、予想通り何の反応もありません。携帯は圏外です。仕方がないので、トイレトペーパーと一緒に買ったアイス“MAGNUM ALMOND”を、溶ける前にと食べました。後悔しました。下腹が痛くなってきたのです。晩飯ではビールも飲んでいきます。幸運にも(?)手元にトイレトペーパーとビニール袋はありますが、できればこの手は使いたくありません。

もしやと思い、力任せにドアを開いてみました。内側のドアだけ開きました。エレベーターホール側のドアは開いていません。足下から20センチくらいのところに30階の床があります。ホール側のドアもこじ開けようとしたのですが、2センチくらい隙間が開くだけで、そこからは全く開く気配がありません。天井近くでロックされている感じです。携帯で照らして、ドアの上の辺りを観察しました。なんだかそれらしき金属の小さなプレートがあります。今、エレベーターが動き出したら怖いなあと思いつつ、しかし内側のドアが開いたまま動くこともなかりと、30階の床に足をかけ、背伸びしながらそのプレートに右の中指をかけるとスライドします。これはと思い、その状態で左手の指をドアの隙間に入れ、左に引くとドアが開きました。

部屋に戻り、一仕事終えた気分で用を足しました。おわり。